

事 業 評 価 書

補助事業名	キャンプ・シュワブ（キャンプ・ハンセンを含む。）関連公共用施設（教育文化施設：屋部地区センター改築工事実施設計）整備事業					
補助事業者名	名護市長					
実施場所	名護市字屋部地内					
補助事業の標 成 果 の 目 標	<p>現屋部支所は、建築から50年以上が経過し、老朽化が著しく、躯体の剥離や雨漏り、電気設備の故障などが生じていることから、施設の一部機能（ホール・会議室等）を閉鎖し、市民の利用に支障をきたしている状況である。</p> <p>本事業により屋部地区センターの整備を行うことで、屋部支所管内の地域づくりの拠点として、市民の交流及び地域活動の活性化に寄与するものである。</p>					
補助事業の内容	実施設計 一式					
補助事業の始期及び終期	令和元年度から令和2年度					
事業費及び交付金額		令和 元年度	令和 2年度			計
	事業費	27,836,600 円	29,526,000 円	円	円	57,362,600 円
	交付金額	18,881,000	29,429,000			48,310,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 本事業において、地域住民等と調整を行いながら、施設規模や諸室の検討を行い、様々な年代の市民の交流及び地域活動の活性化に寄与する施設の設計ができた。また、令和3年度に工事に着手することから、成果の目標は達成できたと評価する。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 地域広報誌及び市ホームページで周知を行った。また、屋部地区住民で構成する屋部支所管内地域振興会部会（構成員：各行政区の長、名護市議会議員、各行政区の代表 合計24名）に対し、基本設計及び実施設計の概要説明を行うとともに、特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用した事業であることを周知した。</p>					
事業の改善措置及び今後の対応	本事業で実施した基本設計及び実施設計を生かし、令和3年度において建築・設備工事を行う。					
事業の評価に際しての第三者機関の有無	無					

事 業 評 価 書

補助事業名	屋部小学校ほか1校物品購入			
補助事業者名	名護市長			
実施場所	名護市字屋部、字豊原地内			
補助事業の成果の目標	<p>○ 屋部小学校及び久辺中学校のグランドピアノ</p> <p>上記の学校にあるグランドピアノは購入から44年以上経過して老朽化が進んでおり、授業等に支障をきたしている状況である。</p> <p>以上の課題改善に向け、本事業によりこれらの物品を購入、設置することで授業及び学校活動等を安定的に行える環境を整備する。</p>			
補助事業の内容	グランドピアノ 一式			
補助事業の始期及び終期	令和2年度			
事業費及び交付金額		令和2年度		計
	事業費	4,033,700 円	円	4,033,700 円
	交付金額	4,012,000 円	円	4,012,000 円
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 本事業を実施したことにより、音楽の授業等を安定的に行える環境を整備することができた。このことについて、小学校及び中学校の教師へアンケートを実施したところ、「グランドピアノが新しくなったことで、子供達は楽器への関心や音の高さ、音色など、「音」をよく聴いてくれるようになった。また、ピアノを習っている子が伴奏してくれたり、子どもの活躍の場も増えた。」や「音色が劇的によくなったことで、生徒の楽器への興味、ひいては音楽への関心がとても高まっている。授業への意欲向上につながった。」等の回答が得られており、安定的に授業を行える環境が整ったと評価する。</p> <p>【地域住民への周知】 保護者及び地域住民への周知については、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金事業である旨を市ホームページへ掲載して周知を図った。</p>			
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも安定した学校運営のため、整備した備品を適切に管理していく。			
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無			

事業評価書

補助事業名	市道仲尾次17号線道路改良工事					
補助事業者名	名護市長					
実施場所	名護市字仲尾次地内					
補助事業の成果の目標	<p>仲尾次17号線は道路幅員が狭小で自動車のすれ違いが困難な状況である。また道路脇の排水路で、同地区内の水処理を行っているが、排水路が一部破損していたり、降雨時には増水し道路へと溢れ出る状況である。このため、道路及び排水路を整備することにより交通の利便性向上及び適切な排水処理を行うことで、地域の生活環境改善を図る。</p>					
補助事業の内容	<p>実施設計 一式 磁気探査(水平探査)A=274.9m²、(経層探査)A=1053.8m² 用地測量 一式 用地購入 A=180.33m² 6筆 物件調査 一式 物件補償 5件 整備工事 L=154.3m W=6.0m</p>					
補助事業の始期及び終期	平成29年度から令和2年度					
事業費及び交付金額		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	計
	事業費	円 4,764,960	円 5,252,072	円 4,691,199	円 38,963,422	円 53,671,653
	交付金額	4,764,000	5,251,000	4,687,000	38,893,000	53,595,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 本事業を実施したことにより、地域の環境改善を図ることができた。本事業完了後、アンケート調査を実施したところ、「道路が通りやすくなった」、「排水が溢れることがなくなった」との回答が多数あったことから、本事業の成果目標を達成できたと評価する。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金である旨を本市ホームページ及び工所用看板へ記載し、地域住民への周知を図った。</p>					
事業の改善措置及び今後の対応	<p>今後も、生活及び交通に支障を来たす市道について、地域住民の要望を踏まえ計画的に改善に努める。</p>					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無し					

事 業 評 価 書

補助事業名	名護小学校ほか12校物品購入		
補助事業者名	名護市長		
実施場所	名護市字真喜屋、字田井等、字我部祖河、字安和、宮里、大西、大北、字仲尾次、字屋部、字豊原、大東		
補助事業の成果の目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大宮小学校、名護小学校、屋部中学校、久辺中学校(カーテン) 上記の学校は、カーテンが無く、授業に支障をきたしている状況である。 ○ 稲田小学校、安和小学校、羽地中学校(音響機器) 上記の学校にある音響機器は、老朽化が進んでおり(稲田小学校は購入年度不明、安和小学校は平成19年度購入、羽地中学校は平成10年度購入)、授業等に支障をきたしている状況である。 ○ 大宮小学校、大宮中学校(体操マット) 上記の学校にある体操マットは、老朽化が進んでおり(大宮小学校が購入年度不明、大宮中学校が平成2年度購入)、授業等に支障をきたしている状況である。 ○ 大北小学校(サッカーゴール) 上記の学校にあるサッカーゴールは、老朽化が進んでおり(購入年度不明)、授業等に支障をきたしている状況である。 ○ 名護中学校(フロアシート) 上記の学校にあるフロアシートは、老朽化が進んでおり(購入年度不明)、行事等に支障をきたしている状況である。 ○ 羽地小学校ほか3校(机・イス) 上記の学校にある机・イスは老朽化が進んでおり(羽地小学校及び東江中学校は平成17年度購入、名護小学校は平成3年度購入、名護中学校は平成11年度購入)、授業等に支障をきたしている状況である。 ○ 真喜屋小学校ほか1校(給食台) 上記の学校にある給食台は、老朽化が進んでおり(真喜屋小学校が平成18年度購入、大北小学校が昭和60年度購入)、授業等に支障をきたしている状況である。 ○ 大宮中学校(角イス) 上記の学校にある角イスは老朽化が進んでおり(購入年度不明)、授業等に支障をきたしている状況である。 <p>以上の課題改善に向け、本事業によりこれらの物品を購入、設置することで授業及び学校活動等を安定的に行える環境を整備する。</p>		
補助事業の内容	カーテン、音響機器、体操マット、サッカーゴール、フロアシート、給食台、机・イス、角イス		
補助事業の始期及び終期	令和2年度		
事業費及び交付金額		2年度	計
	事業費	19,608,050 円	19,608,050 円
	交付金額	19,608,000 円	19,608,000 円
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 本事業を実施したことにより、授業等を安定的に行える環境を整備することができた。このことについて、小学校及び中学校の教師へアンケートを実施したところ、カーテンの整備により「遮光が十分にできるようになり、TV画面を見る場合も反射せず鮮明に見ることができるようになった。」、音響機器の整備により「全学級への放送がはっきり聞こえるようになり、授業や学校行事等スムーズに行えるようになった。」、体操マットの整備により「経年劣化により持ち運びをする持ち手が破損し、湿気等で重くなっていたため、準備や片付けにかなりの労力と時間を要したが、短時間でできるようになったことで、実技指導の充実につながっている。」、給食台の整備により「以前は伸ばした給食台が突然外れて食器や食缶の中身等がこぼれてしまうことがあったが、それが無くなり安心して準備をすることができるようになった。」、机・イスの整備により「子どもたちも集中して授業に臨めるようになりました。」等の回答が得られており、安定的に授業を行える環境が整ったと評価する。</p> <p>【地域住民への周知】 保護者及び地域住民への周知については、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金事業である旨を市ホームページに掲載して周知を図った。</p>		
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも安定した学校運営のため、整備した備品を適切に管理していく。		
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無		

事 業 評 価 書

補助事業名	可搬式消防ポンプ購入					
補助事業者名	名護市長					
実施場所	名護市大北地内					
補助事業の成果の目標	<p>名護市消防本部が管轄する名護市は、沖縄本島北部に位置し、東シナ海と太平洋に東西を囲まれ、名護岳や多野岳、嘉津宇岳など、多くの山々が連なる自然豊かな場所です。総面積210.90km²と県内では3番目となる広大な面積を有し、その内、森林面積が137,085km²と約65%を占めている。</p> <p>森林等で火災が発生した際、消防車両が進出できない狭隘な場所において、人力で搬送可能な可搬式消防ポンプを活用する事で、効果的な消防活動が実施できる。また、近年、各地で発生している自然災害の教訓を踏まえ、台風等に伴う大雨により、道路が冠水した際、水を排水するポンプとしても活用し総合的な消防活動用資機材の充実強化をするもの。</p> <p>可搬式消防ポンプを購入することにより、災害等から市民の生命、身体及び財産を保護するとともに、迅速で効果的な消防活動を構築し、災害による被害の軽減を図る。</p>					
補助事業の内容	可搬式消防ポンプ一式					
補助事業の始期及び終期	令和2年度					
事業費及び交付金額		令和2年度				計
	事業費	円 2,189,000	円	円	円	円 2,189,000
	交付金額	2,189,000				2,189,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 本事業を実施したことにより、可搬式消防ポンプを活用した訓練を故障等不具合なく年12回以上実施することができ、災害対応能力向上を図ることができた。 以上の事により、迅速で効果的な消防活動ができる環境整備ができたと評価する。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 地域住民への理解を図るため、特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を以下のように周知。 1 資機材へ「令和2年度特定防衛施設周辺整備調整交付金事業」と表示済 2 市広報誌へ掲載済(令和2年8月号) 3 市ホームページへ掲載済</p>					
事業の改善措置及び今後の対応	今後も安定した消防力を維持するため、資機材の点検等を計画的に実施し、整備を図る。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無し					

事業評価書

補助事業名	消防水利整備工事					
補助事業者名	名護市長					
実施場所	名護市中山地区、饒平名地区、安和地区					
補助事業の成果の目標	<p>○1、事業概要 火災発生時の初期消火や消防活動に支障が生じないよう、適切な位置に計画的に消火栓を整備する。</p> <p>○2、事業実施の背景 水道法24条にて水道事業者の消火栓設置義務及び市町村の費用負担が定められている。本市の消防水利算定数における整備率は60.7%となっており、全国平均78.7%を下回っている現状がある。総務省消防庁より全国平均を早期に上回る整備計画を作成し、整備促進を図る様にとの通知もあることから、本事業において、消防水利を設置することにより、災害等から市民の生命、身体及び財産を保護するとともに、迅速な消防活動を構築し災害による被害の軽減を図る。</p>					
補助事業の内容	整備工事 地下式消火栓4基					
補助事業の始期及び終期	令和2年度					
事業費及び交付金額		令和2年度				計
	事業費	円 4,631,000	円	円	円	円 4,631,000
	交付金額	4,631,000				4,631,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 公設消火栓数が436基から440基となり消防水利整備率が60.7%から61%へ向上した。このことにより中山地区、饒平名地区、安和地区の火災発生時における迅速な消防活動を構築することが可能となった。</p> <p>地域住民への理解を図るため、特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を以下のように周知。 1 名護市消防本部消防年報掲載済 2 市広報誌8月号へ掲載済 3 市ホームページへ掲載済</p>					
事業の改善措置及び今後の対応	火災発生時に安定した消防活動を実施するため、計画的な維持管理を徹底する。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無し					

事 業 評 価 書

補助事業名	学校給食施設備品購入		
補助事業者名	名護市長		
実施場所	名護市宇仲尾次、宇茂佐、大西地内		
補助事業の成果の目標	<p>○ コンビオープン（羽地学校給食センター、屋部学校給食センター） コンビオープンの使用年が長期間となり、動作不良や食材に焼きムラが出る不具合が発生し、修理のため、予定の献立（メニュー）が提供できない事態が生じ、学校給食の提供に支障をきたしている。</p> <p>○ フードスライサー（名護学校給食センター） フードスライサーの製造年が古いため安全装置が無く、事故が発生した場合、提供できないメニューの発生や調理作業に遅れが生じる恐れがある。また、老朽化による錆や汚れ等が原因で異物混入が生じる恐れがある。</p> <p>以上の課題改善に向け、本事業によりこれらの物品を購入、設置することで安定して調理を行うことができ、安全・安心な学校給食の提供に資する。</p>		
補助事業の内容	スチームコンベクションオープン、フードスライサー 一式		
補助事業の始期及び終期	令和2年度		
事業費及び交付金額		令和2年度	計
	事業費	5,494,500 円	5,494,500 円
	交付金額	5,494,000 円	5,494,000 円
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 本事業を実施したことにより、学校給食の調理業務を安定的に行える環境を整備することができた。厨房機器の購入後は機器の不具合による調理作業の遅れや、献立の変更は発生しておらず、安全・安心な学校給食を提供できる環境が整ったと評価する。</p> <p>【地域住民への周知】 地域住民への周知については、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金事業である旨を市ホームページへ掲載して周知を図った。</p>		
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも安全・安心な学校給食を提供するため、整備した備品を適切に管理していく。		
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無		

事 業 評 価 書

補助事業名	東江小学校ほか5校物品購入		
補助事業者名	名護市長		
実施場所	名護市宮里、東江、大北、大西、大東、字豊原		
補助事業の成果の目標	<p>○ 大宮小学校(カーテン) 上記の学校は、カーテンが無く、授業に支障をきたしている状況である。</p> <p>○ 東江小学校ほか4校(机・イス) 上記の学校にある机・イスは老朽化が進んでおり(東江小は平成20年度購入、大北小学校は平成19年度購入、名護中学校は平成11年度購入、久辺中は平成18年度購入、東江中学校は平成17年度購入)、授業等に支障をきたしている状況である。</p> <p>以上の課題改善に向け、本事業によりこれらの物品を購入、設置することで授業及び学校活動等を安定的に行える環境を整備する。</p>		
補助事業の内容	カーテン、机・イス		
補助事業の始期及び終期	令和2年度		
事業費及び交付金額		2年度	計
	事業費	9,001,960 円	9,001,960 円
	交付金額	5,392,000 円	5,392,000 円
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 本事業を実施したことにより、授業等を安定的に行える環境を整備することができた。このことについて、小学校及び中学校の教師へアンケートを実施したところ、カーテンの整備により「体育の着替え等児童が安心して着替える環境作りができ、低学年から人権や性に対する配慮をすることができている。児童の性教育の観点からも、効果は大きいと考える。また、性教育に対する保護者のニーズにも応えることができ、学校の信頼につながっている。」、机・イスの整備により「机やイスの歪みによるぐらつきや軋む音も無く、落ち着いた環境で学習を行うことができている。」等の回答が得られており、安定的に授業を行える環境が整ったと評価する。</p> <p>【地域住民への周知】 保護者及び地域住民への周知については、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金事業である旨を市ホームページへ掲載して周知を図った。</p>		
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも安定した学校運営のため、整備した備品を適切に管理していく。		
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無		

事 業 評 価 書

補助事業名	高齢者肺炎球菌ワクチン接種助成事業						
補助事業者名	名護市長						
実施場所	名護市委託実施医療機関						
補助事業の成果の目標	<p>本市は平成26年度から高齢者に対し、高齢者の死因で高い割合を占める肺炎を防ぎ、高齢者の健康づくりを進める目的で肺炎球菌ワクチン接種事業を行ってきたが、今般特定防衛施設周辺整備調整交付金を充当し自己負担額を全額助成することで、高齢者の感染防止及び流行を抑え、高齢者の健康づくり及び住みよいまちづくりの向上を図る。</p> <p>参考指標 補助事業開始前、過去3年間の平均接種率 31.9%</p>						
補助事業の内容	高齢者肺炎球菌ワクチンの予防接種費用の助成						
補助事業の始期及び終期	基金の造成：平成30年度から令和元年度まで 基金の処分：令和元年度から令和5年度まで						
事業費及び交付金額			平成30年度	令和元年度	令和2年度	計	
	基金造成額	交付金額	円	円	円	円	円
		市町村費等	0	0	0	0	0
		運用益	0	0	0	0	0
		計	12,781,000	12,719,000	0	25,500,000	
	基金処分額	0	5,844,623	8,030,448	13,875,071		
	基金残額	12,781,000	19,655,377	11,624,929	11,624,929		
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業を実施したことにより個人負担を無料にした高齢者肺炎球菌ワクチンの接種率は令和元年度は40.1%、令和2年度は40.0%と平成30年度の32.1%から約8%の上昇を維持できたことから、高齢者の死因で高い割合を占める肺炎の予防及び健康づくりの向上を図ることができたと評価する。 <p>【地域住民への周知の実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページに本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金により実施される旨を掲載し、市民全体に周知を行った。 ・市民のひろば(市広報)等で接種期限等を周知、対象者への通知文や未受診者への勧奨はがきでは無料で実施することも周知し接種勧奨を行った。 						
事業の改善措置及び今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・さらなる接種率の維持、向上を図るために、事業の周知についてはこれまでの内容を継続していくとともに、有効な周知方法があれば取り入れていく。 						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						